

事業番号	15 03 10	事業改善シート (28年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	県内大学進学のための入学金等給付事業費			担当課	部局	教育委員会事務局	
					課・局・室	高校教育課	
総合5か年計画	プロジェクト	8-5-3 教育再生プロジェクト			E-mail	koko@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実 2 信州に根ざし世界に通じる人材の育成			実施期間	H26 ~	
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	2-3 若者のライフデザインの希望実現 4-1 信州創生を担う人材の確保・育成					
	施策展開	1-(2) 信州ならではの魅力ある子育て環境づくり (イ) 子育てに伴う経済的負担の軽減 2-(3) 知の集積と教育の充実 ア 魅力ある高等教育の充実 ア 県内大学等の魅力向上					

1 事業の概要

目指す姿	意欲や能力が高いにもかかわらず、経済的な理由で大学・短期大学(以下、「大学」という。)への進学が困難な生徒を支援する。県内大学への進学を促すことにより、県内高等教育全体の振興につなげる。										
現状 (予算編成時)	<input type="checkbox"/> 経済的な理由で大学等への進学が困難な生徒がいる。 <input type="checkbox"/> 卒業後の奨学金返済に苦しむ人が増加している。 <input type="checkbox"/> 無利子であっても、貸与型だと将来の返済に不安があり、進学を諦める生徒がいる。										
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 県内高校出身者が県内大学に進学するにあたり、特定分野の企業等への就職といった一定の条件を課さずに入学金等奨学金を給付できるのは、県以外に想定できない。									
成果目標・事業内容	① 成果目標 (H28)										
	○要件を満たす県内大学への進学希望者に対し、入学金等奨学金を給付する。										
	② 事業内容 (単位:千円)										
	項目	実施方法	H28事業実績	H28 (当初)	H28 (決算)	H29 (当初)					
県内大学入学金等の給付	直接	要件を満たす32人に上限30万円(入学金等の合計額が30万円に満たない場合は実費相当額)を給付	7,500	7,257	7,500						
			合計	7,500	7,257	7,500					
事業コスト	区分(単位:千円)	27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況						
	前年度繰越				項目	H26末	H27末	H28			H29目標
	当初予算	7,500	7,500	7,500				目標	成果	達成状況	
	補正予算				県内大学進学希望対象者へ入学金等を給付	100%	100%	100%	100%	達成	100%
	合計(A)	7,500	7,500	7,500							
	一般財源	7,500	7,500	7,500							
	Aの財源										
	県債										
	国庫支出金										
	その他	0	0	0							
決算額(B)	6,839	7,257									
概算人件費											
職員数(人)	0.50	0.50	0.50								
概算事業費(B(A)+C)	10,977	11,214	11,457								
目標に対する成果の状況	要件を満たす希望者に対し、奨学金を給付した。奨学金給付者32名(内定者39名、うち辞退者7名)										

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	H26に事業を開始したところであり、しばらく現行どおり実施するとともにニーズの把握に努める。